

平成23年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	協 議 事 項 等
監 事 会	23. 4. 25	ハム・ソーセージ 会 館	監事 4名	平成22年度収支決算等に関する事項
理 事 会	23. 4. 25	ハム・ソーセージ 会 館	理事 17名 監事 4名	平成22年度決算について 平成23年度予算について 総会提出議案について
理 事 会	23. 5. 26	東京都港区 「八芳園」	理事 18名 監事 5名	業務運営委員会委員の委嘱について 登録検査機関検査業務評価委員会委員の委嘱について
第8回定時 社員総会	同 上	同 上	77名 (委任状5名、 書面による議 決権行使40名 含む)	①平成22年度事業報告承認の件 ②平成22年度決算報告書承認の件 ③平成23年度事業計画決定の件 ④平成23年度収支予算決定の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥平成23年度会費及び徴収方法決定の 件 ⑦平成23年度加入金決定の件 ⑧平成23年度借入金最高限度決定の 件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件
理 事 会	23. 8. 23	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 5名	経理状況報告について
理 事 会	23. 10. 25	ハム・ソーセージ 会 館	理事 15名 監事 4名	社員の入社について 経理状況報告について
理 事 会	24. 1. 20	東京都中央区 「銀行倶楽部」	理事 16名 監事 5名	安全衛生管理規程の制定について 経理状況報告について
理 事 会	24. 3. 27	ハム・ソーセージ 会 館	理事 14名 監事 5名	平成24年度予算の基本方針及び大綱 (案)について 平成24年度暫定収支予算書(案)につ いて 経理状況報告について
登録検査機関 検査業務評価 委員会(第1回)	24. 3. 7	東京都渋谷区 「セルリアンタワー東 急ホテル」	委員 4名	厚生労働省登録検査機関に係る業務 の状況について その他

2. 庶務に関する事項

- (1) 平成23年5月26日、小林信満理事から辞任届が提出された。
- (2) 平成23年6月13日、役員の変更登記を完了した。
- (3) 平成23年12月20日、厚生労働省登録検査機関として厚生労働省関東信越厚生局の定期監査、平成24年2月14日、JAS登録認定機関として(独)農林水産消費安全技術センターの定期監査を受けた。

3. 社員に関する事項（平成24年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					
	正 社 員	正社員 甲	正社員 乙	正社員 丙	賛助社員	総 計
前期末現在	80	2	0	0	3	85
今 期 入 社	1	0	0	0	0	1
今 期 退 社	1	0	0	0	0	1
今期末現在	80	2	0	0	3	85

(注)正社員：(社)日本食肉加工協会及びその会員

正社員甲：食肉製品製造を事業とする者

正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者

正社員丙：食肉加工を事業とする者

賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) JASに関する業務

ア) 平成23年度におけるJAS格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン、ハム、プレスハム、ソーセージ類	112,277トン	1.1%減
熟成ハム、熟成ソーセージ、熟成ベーコン類	26,297トン	0.2%減
ハンバーガーパティ	23,429トン	5%増
チルドハンバーグステーキ	2,896トン	12%減
チルドミートボール	31トン	55%減

イ) JAS認定工場数（平成24年3月31日現在）

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバー ガー パティ	チルドハンバ ーグ ステーキ	チルドミ ー ト ボ ー ル	合 計
平成22年度末	99	61	2	6	1	169
認 定	2	2	0	0	0	4
取 消	2	2	0	2	1	7
平成23年度末	99	61	2	4	0	166

ウ) JAS認定工場は平成23年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、臨時確認調査を3件実施しJAS認定工場としての適正性を確認した。

エ) J A S 証票表示包装等登録印刷工場はベーコン類等119工場、熟成ハム類等68工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール29工場、生産情報公表 J A S 1工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	23. 7. 20	日本青年館(東京都新宿区)	47名
	23. 7. 22	新大阪丸ビル(大阪市)	23名
品質管理責任者等専門講習会	24. 2. 23～24	日本青年館(東京都新宿区)	71名
格付検査担当者技能研修会	24. 2. 25	ハム・ソーセージ会館	16名

なお、(社)日本農林規格協会主催の J A S 認定工場品質管理担当者一般講習会は3回開催された。

(2) 一般依頼試験等に関する業務

ア) 平成23年度に実施した一般依頼試験、輸入食品検査の件数は下記の通りである。

区 分	件 数	区 分	件 数
理 化 学 検 査	7, 105件	輸 入 食 品 検 査	15, 296件
細 菌 学 検 査	10, 020件	そ の 他 検 査	1, 185件
合 計			33, 606件

イ) 平成23年4月に発生した大規模食中毒及びその後に施行された生食用食肉の規格基準に速やかに対応して、腸管出血性大腸菌O111、腸内細菌科菌群の検査受託を開始した。

また、輸入食品で検査命令が出されたオフロキサシン(抗生物質)、プロメトリン(農薬)について検査受託の認可を受けた。

その他、既存検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

(3) リステリア制御検討委員会

非加熱食肉製品の規格基準に国際規格で定めるリステリアの基準を採用することが厚生労働省で検討されているため、リステリア制御検討委員会を2回開催し、専門家の助言を受けて、企業4社及び食肉科研で非加熱食肉製品のリステリア制御に関する共同試験を開始した。

(4) 食品衛生法に基づく生食用牛肉の加工条件と同等の効力を有する条件の試験(委託試験)

(社)日本畜産副産物協会及び全国食肉事業協同組合連合会が東京大学食の安全研究センターに委託した試験のうち、生食用牛肉の加工条件(加熱処理)と同等の効力を有する実用的な条件の検討を同センターから委託され、実施した。

(5) 平成23年度における学会発表及び研究論文(共同研究者としての研究を含む)

ア) 学会発表

学会名	時期等	表題
第52回日本食肉研究会	5月20日 東京	畜肉中生体ホルモンならびに合成ホルモン剤の同時分析に関して～質量分析法による食肉研究へのアプローチ～
第25回北海道薬物作用談話会	7月30日 北海道	○合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成雄ラットにおける臓器中への移行と精巣毒性 ○合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成雄ラットにおける副腎毒性 ○合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与による成雄ラットにおける海馬発現タンパク質への影響と行動変化
第57回国際食肉科学技術会議	8月7日 ベルギー	○Predicting meat aging using quartz crystal microbalance (QCM) (QCMセンサーを用いた食肉の熟成予測) ○Cis-trans isomerization of unsaturated fatty acids in pork lipids by nitrite (亜硝酸塩による豚肉脂質中の不飽和脂肪酸のシス・トランス異性体化)
第59回質量分析総合討論会	9月13日 大阪府	○Selected Reaction Monitoring(SRM)を用いた牛血中グリア繊維性酸性蛋白質の検知 ○LC-MS/MSを用いた成雄ラットへ投与した合成エストロゲンDiethylstilbestrolの臓器中への移行とTestosterone生合成の解析
第152回日本獣医学会学術集会	9月19-20日 大阪府	○合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成雄ラットにおける臓器中への移行と精巣毒性 ○合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与による成雄ラットにおける海馬発現タンパク質への影響と行動変化
第84回日本生化学会大会	9月22-24日 京都府	合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成雄ラットにおける副腎毒性

イ) 研究論文

雑誌名等	表題
Reproductive Toxicology, Vol.31, No.1, P.26-34, 2011, USA	Oxidatively damaged proteins in the early stage of testicular toxicities in male rats by orally administered with a synthetic estrogen, diethylstilbestrol. (人工女性ホルモンであるジエチルスチルベストールを経口投与した雄ラットの精巣毒性発生初期におけるタンパク質の酸化的損傷)

(6) (社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」、「総合衛生管理製造過程に係る講習会」及び「第28回食品衛生管理者登録講習会」に技術協力した。

(7) その他

- ア) 平成24年2月29日から3月2日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第4回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。
- イ) 平成24年3月30日、愛知県名古屋市天白区「名城大学天白キャンパス」において開催された第53回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。
- ウ) (社)日本農林規格協会、一般社団法人食品衛生登録検査機関協会を始めとして、関係団体との連絡、協調に努めた。